

佐賀大学の思い出

私は、日研生のウドムスック・スリントーンと申します。
ラオスから参りました。



私は、2016年度の秋学期から1年間、佐賀大学で日本語を勉強しました。今回の留学では、ただ勉強する機会だけでなく、日本文化や日本人の生活を学び、多くの国々の人々と出会い、異文化交流もできました。佐賀大学では、学生たちがお互いに交流できるように、様々なイベントが行われていました。例えば、最初来た時に「ウェルカムパーティー」、「カルチャーナイト」などです。それらのイベントを通じて、日本人の学生・留学生とも出会え、いろいろと交流できて本当に良かったと思います。

授業でも「有田焼」「呼子綱引き祭」「武雄高校」を見学して、前よりもっと日本のことが分かるようになりました。また、「佐賀の大名行列」「ガタリンピック」「七山の滝登り」という国際課推進センターから紹介していただいたイベントに参加したおかげで、佐賀の人の生活を知る同時に、日本人の生活や日本文化への理解も深くなりました。

この一年の間に、ワクワクしたり喜んだり楽しんだりする多くの出来事はありませんでしたが、最初来た時は、到着した直後に、手続き、オリエンテーションや日常生活の整理などがあって、留学生にとって少し大変だったと思います。しかし、国際課のアドバイス、先生の方々のご指導、チューターのお手伝いのおかげで、うまく行けました。本当に感謝しました。

その後、環境などに慣れて、授業も生活も楽しむことができました。しかし、時間は早いものだから、あっという間に一年間経って、過ごしてきた佐賀での生活、佐賀大学の環境、出会った友達と別れ、本当に寂しく思います。帰国したら、自転車乗る瞬間、参加した「バルーンフェスティバル」や「唐津くんち」、よく友達と食事しに行った「うらべ」や「はま寿司」、友達とパーティーをした時、佐賀大学校内の美しい木並、友達たちや先生の方々の顔などに懐かしくなるとは思います。ここで過ごしてきた思い出を大切にしたいと思います。

ここに来て以来、素敵な思い出が作れ、貴重な経験も多くでき、特に、日本人の学生や国々の留学生の友達が多くできて本当に良い機会だったと思います。今回、佐賀大学に留学させていただき、誠にありがとうございました。